



羽村市立栄小学校
学校だよりNO. 4
令和6年6月27日

共に

副校長 山田 美佳

栄小学校は、学校生活の中で、子供たちが助け合って働く姿がよく見られます。

みんなと助け合い、思いやり、共に成長を続けている栄小の子供たちの姿を紹介します。

6月3日に、創立52周年開校記念集会を行いました。(開校記念日は、6月10日)スライドで栄小の歴史を振り返りながら、母校への思いを考える時間となりました。

集会後は、伝統として行ってきた校舎清掃をクラスの皆で行いました。自分たちの学校に感謝の気持ちを込めながら、一生懸命に清掃に取り組んでいました。



6月7日は、なかよし班花植えを行いました。全校児童が異学年グループで、学校近隣の街路ますに花を植えるという地域に貢献する取組です。

子供たちが植物を大切に作る心、上級生から下級生への思いやりの心、そして、地域の一員としての自覚をもつ機会となりました。また、PTAボランティアの方々にも共にご協力いただき、



コミュニティ・スクールとしての取組も進んでいます。

6月9日(土)は、5年生が稲作体験(田植え)を行いました。市教育委員会、水田管理者、青少年対策栄小地区委員会、保護者ボランティアの皆さんに、たくさんご協力いただきました。子供たちは、地域の資源を生かした体験学習を通して、日本のお米づくりの文化について学びました。初めての体験にワクワクとドキドキが混ざっていたようですが、よく話を聞いて作業を進め、スムーズに行うことができました。農家の方々の仕事や食について、改めて考えることにもつながったのではないかと思います。



この他にも、6月25～27日の3日間は、あいさつ運動を行いました。栄小の代表委員会、3年生以上のあいさつの



達人たちが、朝、校門に立って、登校する友達や先生などにあいさつします。

その内の2日間は、小中一貫教育の取組として、羽村二中の生徒と共に行いました。

栄小学校の子供たちは、多くの保護者や地域の方々に支えていただいているおかげで、友達と協力し思いやりながら充実した教育活動に取り組むことができます。感謝申し上げます。